

CHOP・リツキサン療法を受けられる患者様へ（月～水曜日入院）１２日間

CHOP-R療法パス（12日間・G-CSF製剤あり（月～水入院））【06005-02】

患者氏名：様入院病棟：病棟主治医：受け持ち看護師：No1

日付	/	/	/	/ ~ /	/ ~ /	/ ~ /	/	
入院日数	1日目	2日目	3日目	4日目～5日目	6日目～7日目	8日目～11日目	12日目	
イベント	入院日	CHOP療法	リツキサン				退院日	
目標 毎日看護師と評価します	- 日常生活動作ができる - 治療について理解できる	- 日常生活動作ができる - 治療について理解できる - 水分管理の必要性が理解できる - 副作用症状について理解でき、症状出現時は医療者に報告できる - 感染予防行動がとれる	- 日常生活動作ができる - 治療について理解できる - 水分管理の必要性が理解できる - 副作用症状について理解でき、症状出現時には医療者に報告できる - 感染予防行動がとれる	- 日常生活動作ができる - 治療について理解できる - 副作用症状について理解でき、症状出現時には医療者に報告できる - 感染予防行動がとれる	- 日常生活動作ができる - 治療について理解できる - 副作用症状について理解でき、症状出現時には医療者に報告できる - 感染予防行動がとれる	- 日常生活動作ができる - 合併症発症時に対処できる - 副作用症状について理解でき、症状出現時には医療者に報告できる - 日常生活での注意点が理解できる - 感染の徴候がない	- 日常生活動作ができる - 合併症発症時に対処できる - 日常生活での注意点が理解できる - 感染の徴候がない	
内服注射	自宅で内服していたお薬は、薬剤師が確認するため一度お預かりします 	- 点滴治療のスケジュールは別紙参照してください - プレドニンの内服が5日間あります 	- リツキサンの点滴30分前に解熱鎮痛剤と抗アレルギー薬を飲みます 11時頃よりリツキサンの点滴を実施します 15分毎に体調を観察し30分毎に問題がなければ点滴の速度をあげていきます 約3～4時間の予定ですが、状態により変わりますので正確な時間はその都度お伝えします ※点滴は機械を使って行います		退院基準： 38度以上の発熱がなく、コントロール不良な感染症の症状がない 			
検査	- 採血があります - 身長、体重測定があります		退院まで毎日、朝体重測定があります					
治療処置	治療前日または治療当日に点滴の管を入れることがあります							
食事飲水	医師の指示により、制限のあるときはお伝えします	- 抗がん剤治療の日は水分を1L程度とってください - 吐き気があるときや食欲がない時はお知らせください						
清潔	点滴終了後にシャワーに入ることができますが、点滴の管は保護が必要です ※シャワー時間は看護師に相談して下さい							
排泄	入院中は朝6時から翌朝6時まで24時間ごと排泄回数をカウントしてください。	- 抗がん剤投与後、48時間は尿に抗がん剤が出るため、トイレは座って排泄し、トイレ後は蓋を開けて2回流してください - ドキソルビシンの影響で赤い尿が出るがありますが、2回ほどでおさまります ※続く場合には、看護師にお知らせ下さい - プレドニン、オンコピンの副作用で便秘になりやすいです ※お薬での調整が必要な場合もあります						
安静活動	制限はありません	- 点滴中、必要時以外は病棟内で過ごしてください - 末梢点滴から投与する場合、血管外露出および曝露予防のため、トイレ、食事時には一時抗癌剤点滴を止めて水分の点滴を流します ※ナースコールでお知らせ下さい - 副作用で不眠になることがあります ※薬をお渡ししますので相談してください				特に制限はありませんが、ステロイドの離脱症状により、倦怠感や脱力感がみられることがあります ※歩行時は転倒に注意し、症状がある場合には看護師にお知らせ下さい		
説明指導	①医師、看護師から治療について説明があります ②薬剤師から化学療法のオリエンテーションがあります ③日常生活の注意点や感染予防行動について説明します	①抗がん剤投与後48時間までは尿や便に抗がん剤が排泄されます ※そのため、衣類やシーツなどを汚染した場合は看護師までお知らせください ②副作用について一緒に確認します。また次のような症状がある時にはお知らせ下さい - プレドニンの副作用による不眠、気分高揚、便秘 - 点滴刺入部の痛み、赤み、腫れがあるとき - 寒気、鼻水、鼻づまり、咳、喉の痛み、息切れや息苦しさ、発疹、身体がかゆいとき ③輸液ポンプ使用中は機械のアラームがなったらナースコールでお知らせ下さい ④治療回数を重ねるとしびれが蓄積性に起こってきます ※日常生活に影響がないか確認し、しびれが強い時にはお知らせ下さい				①化学療法後の生活の注意点や感染予防行動について説明します ②プレドニン内服終了翌日や2日後にステロイドのリバウンド症状（倦怠感、脱力感、眠気、胃のむかつきなど）を感じることがあります ※転倒に注意し、しゃがんだり、落ちたものは拾わないようにお願いします	- 退院日は退院薬をお渡しします - 次回入院日、または次回外来受診日をお伝えします - 会計からの連絡後、1階で精算して頂き、退院となります	

注）現時点で考えられる予定であり変更になることがあります